

地域連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行 地域連携センター
電話 042-558-0321(代表)
FAX 042-550-5190(直通)



着任のご挨拶

循環器内科医長 澤田 朋和

令和6年2月1日付で公立阿伎留医療センターに着任いたしました澤田朋和と申します。臨床研修を現在のJCHO東京新宿メディカルセンター（旧東京厚生年金病院）で行い、その後4年間勤務継続したあと、厚生連相模原協同病院でカテーテル治療を中心に循環器診療に取り組んで参りました。

相模原協同病院のある相模原市緑区も高齢化率は高いと感じていましたが（令和5年で28.8%）あきる野市はさらに高くなっており（同30.1%）、循環器内科の果たすべき役割は大きいと考えます。

心不全パンデミックという言葉で知られているように、人生100年時代の今後、心不全はさらに増えることが予想されています。心不全は進行性の病態であるものの、各々のステージにおいて適切な薬物治療、リハビリテーションや生活環境の整備等、多職種間の連携を含む包括的な対応を導入することで進展を遅らせることは可能です。逆に心不全入院により予後は悪化してしまいます。そのため早期から専門医の介入が心不全との取り組みにおいて大切な要素となっています。

そのような背景がある中で、循環器診療を通じて平均寿命ではなく健康寿命を延ばす医療を目指し、少しでも秋川流域の地域医療に貢献できたらと考えています。心電図異常や不整脈、原因が明確でない胸部症状や心雑音等で、「症状は微妙だけどこういう経過の患者さんをいつ紹介したら良いのだろう」等でお悩みの際はお気軽にご相談ください。必要な治療、可能な治療は個々の患者さんの現状や取り巻く背景によって違ってくると思いますので、丁寧な診察を心がけ少しでも皆さんのお力になればと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

血液内科の入院治療を始めました

血液内科部長 八田 義弘
血液内科科長 内野 慶人

令和6年3月5日に開催された公立阿伎留医療センター病診連携講演会には多くの先生方にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。

その際にもご説明いたしました通り、令和5年12月1日付で内野医師が着任し、常勤医2名体制になりましたので、入院治療も開始しました。

地域の先生方には長らくお待たせをしてお不便をおかけいたしました。

また、当院で入院を受けられなかったために血液内科を診療しておられる病院の先生方には多くの患者さんの入院加療をお引き受けいただき、ありがとうございました。

今後は積極的に血液疾患患者さんを受け入れてまいりますので、ご紹介いただければ幸いです。当院周辺在住で遠方の病院に通院している血液疾患の患者さんの受け皿になっていきたいと思っております。

当院には現在日の出町で開業されている馬場内科クリニックの馬場眞澄先生が血液疾患の診療をしていらした時に考案、準備されたクリーンルームが設置されています。このクリーンルームはクラス100といわれる骨髄移植も可能な清浄度で、12月から早速、急性白血病、悪性リンパ腫の患者さんの入院化学療法を開始しました。また、休止していたリニアック治療も来年度から再稼働の予定です。

今後は当院の充実した設備を使って西多摩地域だけでなく、多摩地域の血液疾患診療の中核となるべく努力してまいります。

私たち二人は血液疾患診療に長く携わり十分な経験を持っており、あらゆる血液疾患に対応可能です。ぜひお役に立ちたいと考えておりますので、患者さんのご紹介をいただければ幸いです。

当院6階西病棟のクリーンルーム



常時、フィルターを通した清浄な空気が送気されています



クリーンルーム備え付けの洗面、シャワーは滅菌水が出ます